



ファブリック インターコネクトの交換

この章は次のトピックで構成されています。

- [ファブリック インターコネクトの交換 \(1 ページ\)](#)

ファブリック インターコネクトの交換

Intersight 管理モードにより、ファブリック インターコネクトを UCS ドメイン内のピア システムのペアとして設定および管理できます。

UCS ドメインでは、両方のファブリック インターコネクトがアクティブであり、他のリソースへの接続を共有します。1つのファブリック インターコネクトを削除すると、接続とデータはドメイン内の他のアクティブなファブリック インターコネクトにフェールオーバーします。

Cisco Intersight 管理モード (IMM) によって管理されているファブリック インターコネクトの交換は、ファブリック インターコネクトを選択し、次のいずれかの[交換 (Replace)] オプションを使用して交換ワークフローを開始する、わかりやすい転送プロセスです。

- 単一のファブリック インターコネクトの交換の場合、[ファブリック インターコネクトの交換 (Replace Fabric Interconnect)] オプションを使用します。このオプションは、交換するファブリック インターコネクトを選択することで利用できます。
- UCS ドメインでのデュアル ファブリック インターコネクトの交換の場合は、[UCS ドメインの置換 (Replace UCS Domain)] オプションを使用します。このオプションは、交換するいずれかのファブリック インターコネクトを選択することで利用できます。

次のトピックに従ってファブリック インターコネクトを交換します。新しいシステムを受け取ったら、[ファブリック インターコネクトのインストール](#)の手順に従って設置します。

単一のファブリック インターコネクトの取り外し準備、Intersight

Cisco IMM を使用して、次のタスクを実行します。

手順

追加するファブリック インターコネクットに設定情報がないことを確認してください。

- a) 工場出荷時の新しいファブリックインターコネクットをインストールする場合は、[単一のファブリック インターコネクットの交換、Intersight \(2 ページ\)](#)に進みます。
- b) 以前に設定されたファブリック インターコネクットを使用する場合は、ファブリック インターコネクットの設定を消去します。

ファブリック インターコネクット CLI では、**erase configuration** コマンドを使用できます。

次のタスク

[単一のファブリック インターコネクットの交換、Intersight \(2 ページ\)](#)に進みます。

単一のファブリック インターコネクットの交換、Intersight

単一のファブリック インターコネクットを同じファブリック インターコネクットのモデルと交換する必要がある場合は、次の手順を使用します。

新しいファブリック インターコネクットがオンラインになった後、ソフトウェアのタスクを実行するには、Cisco UCS Intersight の管理モード (IMM) を使用します。詳細については、[Cisco Intersight 管理モード構成ガイド](#)の「サーバーとファブリック インターコネクットのアップグレードと RMA」を参照してください。



(注) すべての vNIC が冗長であるか、ファブリック フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

手順

- ステップ 1 使用しているポートとケーブルにラベルを付け、後でこの情報を参照できるようにします。ケーブル配線とポートの番号付けは、交換用ファブリック インターコネクットと同じにする必要があります。
- ステップ 2 サーバー、FEX ファブリック、およびブレードシャーシを含むすべてのケーブル接続を、古いファブリック インターコネクットから外します。
- ステップ 3 ファブリック インターコネクットのプラグを電源から抜いて電源を切ります。
- ステップ 4 ファブリック インターコネクットをラックから取り外します。その場合は、[ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクットの取り外し \(8 ページ\)](#)の手順に従ってください。
- ステップ 5 交換用ファブリック インターコネクットをラックに取り付けます。その場合は、[ファブリック インターコネクットのインストール](#)の手順に従ってください。

- ステップ 6** サーバー、FEX ファブリック、およびブレードシャーシを含むすべてのケーブル接続を、古いファブリック インターコネクトから新しいファブリック インターコネクトに移動します。
- 取り外した L1/L2 ケーブルを交換用ファブリック インターコネクトに接続します。
 - 手順 2 で作成したラベルに従ってデータ ケーブルを接続します。
 - ファブリック インターコネクトに電源ケーブルを接続すると、自動的に起動し、POST テストが実行されます。

- ステップ 7** 新しいファブリック インターコネクトの基本システム構成ダイアログでの設定を完了します。必要に応じてダイアログのプロンプトに応答します。

基本システム構成ダイアログの例については、[コンソールを使用したファブリック インターコネクト B の設定](#)を参照してください。

- 明示的なアップグレードが必要ない場合、新しく置き換えられたファブリック インターコネクトは、基本システム構成ダイアログが実行されている間に、必要なプロンプトに応答すると、システム、管理プラグイン、およびデバイスコネクタのイメージをピアファブリック インターコネクトと同期します。
- 明示的なアップグレードが必要な場合は、次のステップに進みます。

- ステップ 8** 必要に応じて、ファブリック インターコネクトが同期するようにソフトウェアバンドルをアップグレードします。

更新が必要な場合、基本システム構成ダイアログによってプロンプトが表示されます。

例：

```
---- Basic System Configuration Dialog ----

This setup utility will guide you through the basic configuration of
the system. Only minimal configuration including IP connectivity to
the Fabric interconnect and its clustering mode is performed through
these steps.

Type Ctrl-C at any time to abort configuration and reboot system.
To back track or make modifications to already entered values,
complete input till end of section and answer no when prompted
to apply configuration.

Enter the configuration method. (console/gui) ? console

Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect.
This Fabric interconnect will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y

Enter the admin password of the peer Fabric interconnect:
Connecting to peer Fabric interconnect... done
Retrieving config from peer Fabric interconnect... done
Management Mode is : intersight

Local Fabric Interconnect
  Kickstart version      : 9.3(5)I42(1b)
  Management Plugin version : 1.0.9-255
  local_model_no         : UCS-FI-6536

Peer Fabric Interconnect
  Kickstart version      : 9.3(5)I42(1b)
  Management Plugin version : 1.0.9-281
```

```

local_model_no           : UCS-FI-6536

Do you wish to update firmware on this Fabric Interconnect to the
Peer's version? (y/n): y
Updating firmware of Fabric Interconnect..... [ Please don't press Ctrl+c while
updating firmware ]

Updating images
Please wait for firmware update to complete...

<output truncated>

```

ステップ 9 新しいファブリック インターコネクットがオンラインになるのを許可します。

ステップ 10 IMMで、ファブリック インターコネクットのリストから削除したファブリック インターコネクットを見つけます。

ステップ 11 ファブリック インターコネクットのリストで、チェックボックスをクリックして、削除するファブリック インターコネクットを選択します。

ステップ 12 ファブリック インターコネクットの交換アイコンをクリックします。

この手順により、交換ワークフローが開始し、ファブリック インターコネクットを停止する手順が示されます。

ステップ 13 ワークフローに従って完了します。

ステップ 14 ワークフローが完了したら、以下のタスクを実行します。

- a) ドメイン プロファイルが展開されたことを確認します。
- b) すべての検出および一覧ワークフローがトリガーされ、成功したことを確認します。
- c) サーバー プロファイルが展開されていることを確認します。
- d) シャーシ プロファイルが展開されていることを確認します。
- e) すべての正しいファブリック インターコネクットポリシーが構成されていることを確認します。
- f) 必要なすべてのポート、ポート チャネル、仮想イーサネット、および仮想ファイバチャネル インターフェイスが両方のファブリック インターコネクット上で設定され、稼働していることを確認します。
- g) 削除したファブリック インターコネクットがファブリック インターコネクットのリストから削除されたことを確認します。
- h) エンドツーエンドのイーサネット接続が稼働していることを確認します。
- i) エンドツーエンドのファイバチャネル接続が稼働していることを確認します。
- j) 仮想 KVM セッションを起動できることを確認します。

UCSドメインでのファブリック インターコネクット取り外しのための準備、Intersight

Cisco IMM を使用して、次のタスクを実行します。

手順

追加するファブリック インターコネクットに設定情報がないことを確認してください。

- a) 工場から新しいファブリック インターコネクットをインストールする場合は、[UCS ドメインでのファブリック インターコネクットの交換、Intersight \(5 ページ\)](#)に進みます。
- b) 以前に設定されたファブリック インターコネクットを使用している場合は、両方のファブリック インターコネクットで設定を消去します。

ファブリック インターコネクット CLI では、**erase configuration** コマンドを使用できます。

UCS ドメインでのファブリック インターコネクットの交換、Intersight

同じドメイン内の、ファブリック インターコネクットの同じモデルからなる、ファブリック インターコネクットのペアを交換する必要がある場合には、次の手順に従います。たとえば、Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクットは、同じドメイン内で Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクットとペアにはできません。

ドメインでは、各ファブリック インターコネクットが、1つのライブシステムと1つのスタンバイシステムとしてではなく、1つのアクティブなオンラインシステムとして動作します。このマニュアルでは、必要に応じて、ファブリック インターコネクットにファブリック インターコネクットA とファブリック インターコネクットB という名前を付けて区別します。

Cisco UCS Intersight 管理モード (IMM) を使用して、新しいファブリック インターコネクットがオンラインになった後、ソフトウェアのタスクを実行します。詳細については、[Cisco Intersight 管理モード管理ガイド](#)の「サーバーとファブリック インターコネクットのアップグレードとRMA」を参照してください。



- (注) すべての vNIC が冗長であるか、ファブリック フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

手順

- ステップ 1** 使用しているポートとケーブルにラベルを付け、後でこの情報を参照できるようにします。ケーブル配線とポートの番号付けは、交換用ファブリック インターコネクットと同じにする必要があります。
- ステップ 2** 古いファブリック インターコネクットから、サーバー、FEX ファブリック、およびブレードシャーシを含むすべてのケーブル接続を外します。
- ステップ 3** ファブリック インターコネクットのプラグを電源から抜いて電源を切ります。

- ステップ 4** ファブリック インターコネクットをラックから取り外します。その場合は、[ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクットの取り外し \(8 ページ\)](#) の手順に従ってください。
- ステップ 5** 交換用ファブリック インターコネクットをラックに取り付けます。その場合は、[ファブリック インターコネクットのインストール](#) の手順に従ってください。
- ステップ 6** 古いファブリック インターコネクットから新しいファブリック インターコネクットに、サーバ、FEX ファブリック、およびブレード シャーシを含むすべてのケーブル接続を移動します。
- 取り外した L1/L2 ケーブルを交換用ファブリック インターコネクットに接続します。
 - 手順 2 で作成したラベルに従ってデータ ケーブルを接続します。
 - ファブリック インターコネクットに電源ケーブルを接続すると、自動的に起動し、POST テストが実行されます。
- ステップ 7** 新しいファブリック インターコネクットの基本システム構成ダイアログでの設定を完了します。必要に応じてダイアログのプロンプトに応答します。

重要

同じ UCS ドメイン内で 2 つのファブリック インターコネクットを設定する場合は、必ず同じ IP アドレスとドメイン名を設定してください。

基本システム構成ダイアログの例については、[コンソールを使用したファブリック インターコネクット B の設定](#) を参照してください。

- 明示的なアップグレードが必要ない場合、新しく交換されたファブリック インターコネクットは、Intersight によって要求された後、RMA ワークフローがアクティブ化される前に IMM を介してアップグレードできます。
- 明示的なアップグレードが必要な場合は、IMM によってファブリック インターコネクットが要求された後に IMM を介してアップグレードを実行できます。

- ステップ 8** 新しいファブリック インターコネクット ペアの基本システム構成ダイアログでの設定を完了します。

重要

同じクラスター内に 2 つのファブリック インターコネクットを設定する場合は、必ず同じ IP アドレスとドメイン名を設定してください。

- ステップ 9** 必要に応じて、ファブリック インターコネクットが同期するようにソフトウェアバンドルをアップグレードします。

例 :

```
---- Basic System Configuration Dialog ----
This setup utility will guide you through the basic configuration of the system.
Only minimal configuration including IP connectivity to the Fabric Interconnect
and its clustering mode is performed through these steps.

Type Ctrl-C at any time to abort configuration and reboot system.

To back track or make modifications to already entered values, complete input till
end of section and answer no when prompted to apply configuration.

Enter the configuration method. (console/gui) ? console

Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect. This Fabric interconnect
```

```
will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y

Enter the admin password of the peer Fabric interconnect:
Connecting to peer Fabric interconnect... done
Retrieving config from peer Fabric interconnect... done
Peer Fabric interconnect management mode      : intersight
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Address: 192.168.1.101
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IPv4 Netmask: 255.255.255.0

Peer FI is IPv4 Cluster enabled. Please Provide Local Fabric Interconnect Mgmt0 IPv4 Address

Physical Switch Mgmt0 IP address : 192.168.1.10

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes

Applying configuration. Please wait.
Configuration file - Ok

XML interface to system may become unavailable since ssh is disabled

Completing basic configuration setup

2025 Jul  9 18:29:18 K34FishTale-A %$ VDC-1 %$ %SECURITYD-2-FEATURE_NXAPI_ENABLE: Feature nxapi
is being enabled on HTTPS.

Cisco UCS 6600 Series Fabric Interconnect
```

ステップ 10 新しいファブリック インターコネクットがオンラインになるのを許可します。

ステップ 11 Intersight で新しいファブリック インターコネクットを要求します。

ステップ 12 IMM のファブリック インターコネクットのリストで、交換した両方のファブリック インターコネクットを見つけます。

ステップ 13 ドメインで交換するいずれかのファブリック インターコネクット（両方ではない）のチェックボックスをオンにします。

ステップ 14 UCS ドメイン インターコネクットの交換アイコンをクリックします。

この手順により、交換ワークフローが開始し、ファブリック インターコネクットを停止する手順が示されます。

ステップ 15 ワークフローに従って完了します。

ステップ 16 ワークフローが完了したら、以下のタスクを実行します。

- a) ドメイン プロファイルが両方のファブリック インターコネクットに展開されていることを確認します。
- b) 両方のファブリック インターコネクットですべての検出および一覧ワークフローがトリガーされ、成功することを確認します。
- c) サーバー プロファイルが両方のファブリック インターコネクットに展開されていることを確認します。
- d) シャーシ プロファイルが両方のファブリック インターコネクットに展開されていることを確認します。
- e) すべての正しいファブリック インターコネクット ポリシーが両方のファブリック インターコネクットに設定されていることを確認します。

- f) 両方のファブリック インターコネクットに必要なすべてのポート、ポート チャネル、リモート対応イーサネット、およびリモート対応ファイバチャネル インターフェイスが設定され、稼働していることを確認します。
- g) 削除された両方のファブリック インターコネクットがファブリック インターコネクットのリストから削除されたことを確認します。
- h) 両方のファブリック インターコネクットでエンドツーエンドイーサネット接続が稼働していることを確認します。
- i) 両方のファブリック インターコネクットでエンドツーエンド ファイバチャネル接続が稼働していることを確認します。
- j) 両方のファブリック インターコネクットで仮想 KVM セッションを起動できることを確認します。

ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクットの取り外し



注意

ラックから取り外すときに、ファブリックインターコネクットの両側をサポートします。スライダ レールおよび前面ラックマウント ブラケットには、ストッパ機構がありません。シャーシの前面がラックに固定されておらず、シャーシをスライダ レール上で前方にスライドさせた場合、シャーシがスライダ レールの端から滑り落ち、ラックから落ちる可能性があります。

手順

- ステップ 1** Cisco UCS ファブリック インターコネクットの重量が完全に支えられていて、別の人もシャーシを支えていることを確認します。
- ステップ 2** アース線をシャーシに取り付けている 2 本のネジを取り外します (取り付けられている場合)。
- ステップ 3** 電源コードとコンソール ケーブルを外します。
- ステップ 4** SFP28 トランシーバに接続されているすべてのケーブルを外します。
- ステップ 5** 取り付けレールに前面ラックマウント ブラケットを固定しているネジを外します。
- ステップ 6** Cisco UCS ファブリック インターコネクットをゆっくり自分の方に滑らせ、スライダ レールから引き抜き、ラックから取り出します。

返送用の Cisco UCS ファブリック インターコネクットの再梱包

ファブリック インターコネクットを返送する必要がある場合は、ラックからファブリック インターコネクットを取り外し、返送用に再梱包してください。できれば、元の梱包材と箱を使用してユニットを再梱包してください。シスコへの返送を手配するには、シスコのカスタマーサービス担当者に連絡してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。